

麦の生育が旺盛なので、倒伏させない管理をしましょう

1 気象概況

過去 5 ヶ年平均値（平年）と比較して、平均気温は 3 月上旬および中旬ともに平年並みで推移しました。また、降水量は 3 月上旬は多雨、中旬は少雨で推移しました（図 1）。

なお、気象庁の 1 か月予報（3/14～4/13）では、気温は平年より高い、降水量は平年並みとなる可能性が高いとされています（表 1）。

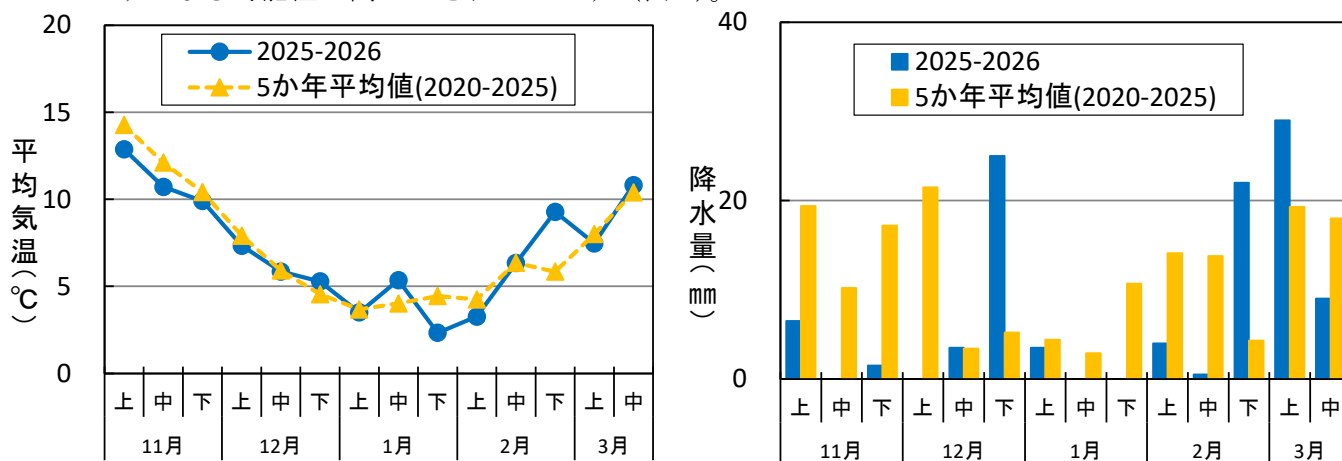


図 1：11 月上旬から 3 月中旬までの気象状況（左：平均気温、右：降水量）

表 1 東日本太平洋側における向こう 1 か月 (3/14～4/13) の気象予報 (%)

	低い (少ない)	平年並み	高い (多い)	備考
気温	10	20	70	高い見込み
降水量	40	40	20	平年並か少ない見込み

気象庁HPより引用

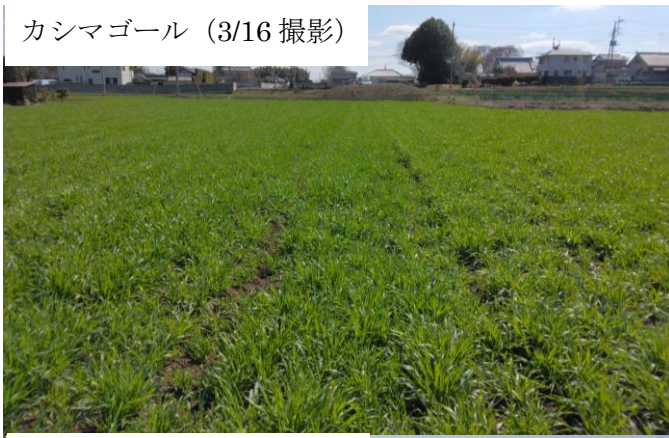
2 生育概況（表 2）

2 月下旬以降、高温や適度な降雨があったため、麦の生育は旺盛となっています。今後も高温で推移することから、さらに生育が旺盛になることが予想されます。そのため、例年よりも大きく倒伏する可能性が懸念されます。

また、「カシマゴール」は既に茎立期を迎えていますが、「さとのそら」と「ゆめかおり」の茎立期は、3 月下旬から 4 月頭と予想されます。

表 2 調査ほ場の生育状況（3/16 調査）

品種	調査地点	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	SPAD	茎立期予測		出穂期予測	
						平年並	+2°C	平年並	+2°C
カシマゴール	古河市 (旧総和)	11/12	30.0	1,542	36.8	-	-	4/10	4/7
さとのそら	古河市 (旧総和)	11/29	35.7	503	33.5	4/4	4/1	4/19	4/15
ゆめかおり	境町	11/25	24.9	747	45.1	3/25	3/24	4/17	4/12



3 今後の栽培管理～倒伏させないために～

・ 麦踏み

麦踏みを行うことで短稈かつ無効分げつの抑制につながり、倒伏を抑えることができます。茎立期を迎えるまで、積極的に行いましょう。

表3 麦踏みの効果

麦踏み回数	生育期調査(3/13)		収量調査			
	草丈 cm	茎数 本/m ²	稈長 cm	穂数 本/m ²	収量 kg/10a	倒伏 程度
3	43	1,304	100	512	549	4～5
5	34	1,187	99	547	591	1～2
7	31	1,190	94	543	603	0～1

品種：農林61号、播種時期11/11
埼玉県農業試験場の知見（1988年）を一部改変

・ 雑草防除

広葉雑草の発生が目立ってきています。雑草の多発生により減収するだけでなく、茎が細くなることで、倒伏を招くことがあります。小麦でのハーモニーDF 以外は茎立期を迎えてからは使用できないので、使用時期には注意して散布しましょう。

表 一年生広葉雑草に登録のある大麦および小麦で使用できる除草剤の一例

農薬名	使用時期	使用回数	雑草の種類		
			カラスノエンドウ	ヤエムグラ	スズメノテッポウ
ハーモニーDF (※)	播種後～節間伸長前	1回	△	△	◎
エコパートフロアブル	節間伸長開始期まで（雑草生育期） ただし、収穫45日前まで	2回以内	×	◎	×
MCPソーダ塩	幼穂形成期（ただし、収穫45日前まで）	1回	◎	△	×

※ハーモニーDF は、小麦のみ「節間伸長開始期～穂ばらみ期（ただし、収穫 45 日前）」の時期でも使用可能。

資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬使用の際は、使用前に必ずラベルを見て、対象作物、希釈倍率、使用時期、使用回数等を確認してください（令和 8 年 3 月 4 日登録確認）

農薬の新しい安全性評価導入等にもとない、直ちに使用方法を変更するよう注意喚起される場合があります。その場合は、ラベルの使用方法ではなく、変更後の使用方法に従って使用してください。注意喚起の有無は、農薬の購入先や茨城県病害虫防除所の HP 等で確認してください。

・カラスノエンドウ



・ヤエムグラ



・スズメノテッポウ



○次回は、3月下旬頃に生育情報を作成する予定です。今後の栽培管理についてご質問があれば普及センターまでご連絡ください（TEL：0297-34-2134）。